

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 910

所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	担当者名	早川 忠
事業名	特環施設管理費			事業分類	施設管理費
細事業名	特環施設管理費			政策体系	225
会計	下水道特会	科目	1.総務 - 1.総務 - 3.特定		

1. 事業の概要

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

②事業を実施する必要性

市民の衛生的で快適な暮らしを確保し、また環境を保全するため、特定環境保全公共下水道施設の維持管理を行う。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	117,921	99,462	94,667	112,659	113,964	112,093	112,093
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	113,622	99,462	95,356	105,431	108,364	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	7,228	5,600	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,299	0	-689	0	0	112,093	112,093
職員等の従事人員		人/年	-	-	1.50	1.30			
人件費		千円	-	-	9,194	9,112			
事業費総額		千円	-	-	103,861	121,771			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

光熱水費	21,856千円
修繕費	11,660千円
施設管理委託料（処理場管理費）	27,482千円
マンホールポンプ管理委託料	13,498千円
汚泥処理費	9,666千円
水質検査料	1,227千円
検針調定業務委託料	1,568千円
工事請負費	7,534千円
受託工事費	4,309千円

5. 事業結果の概要

快適な生活環境と安全・安心な維持管理の実現。
 処理場5箇所の維持管理
 マンホールポンプ111箇所の維持管理
 処理人口 6,951（人）水洗化人口5,799（人）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) その他		
西部浄化センター見学。 園部小学校の4年生が、社会科授業の一環として、処理場の見学を行った。	6月19(木)	自分たちが流した、汚水がどのようにして、浄化され、川に流れていくのかを学んだ。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

平成21年度から処理場及びマンホールポンプの維持管理について、包括的民間委託による複数年契約により機能維持・施設延命などコスト低減を図ると共に、故障時の即座の対応も含め住民サービスの向上に努めてきた。今後も、計画的・予防的維持管理を継続実施していくと共に、特に更新に多額の費用を要するマンホールポンプ施設については、適切かつ有効な保守点検業務を実施することにより、施設延命につなげコスト削減に努める。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
維持管理経費の軽減について協議し、平成21年度からマンホールポンプ等維持管理契約について複数年契約とした。
- ②当該事業のアピール事項
施設の機能を発揮するためには、日常の適正な維持管理が必要であり、専門知識と機動力をもった維持管理業者に施設管理を委託し公共水域の保全に努めている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
住民の使用料負担に応える能率的な下水道経営を図るため、事業の効率化・所要経費等の削減に努める。